

高等学校 令和4年度（1学年用）教科 人間と社会 科目 人間と社会

教科：人間と社会 科目：人間と社会 単位数：1 単位

対象学年組：第1学年 1組～4組

教科担当者：（1組：高嶋 啓、中（2組：細井、平井）（3組：尾見、大串）（4組：浅井、倉田）

使用教科書：（「人間と社会」改訂版教科書 発行：東京都教育委員会）

教科 人間と社会 の目標：

【知識及び技能】他者や自身、社会について課題を解決するための情報を集め、整理・分析をして多面的・多角的に考察することができる。

【思考力、判断力、表現力等】他者や自身、社会について課題を解決するための情報を集め、考察したこと説明したり議論をすることができる。

【学びに向かう力、人間性等】自分自身の生き方を充実させようとする態度、よりよい社会を実現しようとする態度を身に付ける。

科目 人間と社会 の目標：

| 【知識及び技能】  | 【思考力、判断力、表現力等】                                      | 【学びに向かう力、人間性等】                                |
|---|---|---|
| 他者や自身、社会について課題を解決するための情報を集め、整理・分析をして多面的・多角的に考察することができる。 | 他者や自身、社会について課題を解決するための情報を集め、考察したこと説明したり議論をすることができる。 | 自分自身の生き方を充実させようとする態度、よりよい社会を実現しようとする態度を身に付ける。 |

|             | 単元の具体的な指導目標                            | 指導項目・内容   | 評価規準  | 知 | 思 | 態 | 配当<br>時数 |    |
|-------------|--|---|---|---|---|---|----------|----|
|             |  |   |   |   |   |   |          |    |
| 1<br>学<br>期 | 人間と社会のについて理解する                         | 人間と社会と学習目標についてオリエンテーションを行う  | 出席・授業態度及びワークシートなどから数値化をしない評価を行う                 |   |   | ○ | 1        |    |
|             | 人間関係を築くことを学ぶ                           | 第1章 人間関係を築く<br>グループワークから協議の仕方を学ぶ  | 出席・授業態度及びグループワーク・ワークシートなどの活動を通して数値化をしない評価を行う    | ○ | ○ | ○ | 2        |    |
|             | 社会におけるマナーとルールについて考える                   | 第5章 マナーとルール<br>ケーススタディについてグループワークをし、考えをまとめる方法を身に付ける   |   | ○ | ○ | ○ | 2        |    |
|             | インターネット上のルールとマナーについて考える                | 第6章 スマートフォン時代のコミュニケーション<br>ケーススタディについてグループワークをし、考えをまとめる方法を身に付ける   |   | ○ | ○ | ○ | 2        |    |
| 2<br>学<br>期 | 防災（自助、共助、公助）について考える                    | 第12章 支えあう社会<br>災害時の事例について学び、グループワークで自助・公助・共助について考える。ハザードマップを作成し、災害に備える。   |   | ○ | ○ | ○ | 3        |    |
|             | 高齢者と社会生活について考える                        | 第12章 支えあう社会<br>高齢者と共に生活すること、介護、高齢になるとはどういうことを考える。   | ○   | ○ | ○ | 2 |          |    |
|             | 地域社会との共生                               | 第13章 地域社会を築く<br>地域社会との関り、何のために築くのかを考え、地域社会に必要な活動を行う。  | ○   | ○ | ○ | 2 |          |    |
|             | 働くことと学ぶこと                              | 第2章 学ぶことの意義<br>第3章 働くことの意義<br>これまでの学習を振り返り、将来どのような人間、社会を目指したいかを考える。また、将来を見据えた選択ができるようし、2年次の選択や希望する学習に活かす。             | ○   | ○ | ○ | 3 |          |    |
| 3<br>学<br>期 | 働くこと、社会の仕組み、社会生活について学び、社会問題について課題を見つける | 第9章 ワーク・ライフ・バランス<br>第10章 お金の意義<br>第11章 消費者市民生活<br>生きる上で必要なお金と、それを得るための労働、生活について考える。また、豊かな暮らしとはどういうことかそのためには何が必要かを考える。 | 出席・授業態度及びグループワーク・ワークシート・演習などの活動を通して数値化をしない評価を行う | ○ | ○ | ○ | 2        |    |
|             | 国際社会について考える・相互理解                       | 第16章 文化の多様性<br>グループワークで文化の違いについての学習を通して、互いの理解を深める。  |   | ○ | ○ | ○ | 2        |    |
|             |  |   |   |   |   |   | 合計       | 21 |